

令和7年度 3年次生 学びのプラン

教科名	芸術	単位数 (コマ数)	2単位 (2コマ)	履修年次	3年次	
科目名	構成	履修	選択	開講	通年	
教科書		副教材				
1 学習の目標						
(1) 造形的な創造活動に関わる諸要素について理解を深めるとともに、基礎となる技能を身に付けるようにする。や造形感覚と創造的な構成の能力を高める。 (2) 造形的な表現効果を高めるための基礎となる思考力、判断力、表現力等を育成する。 (3) 造形感覚を高めようとする態度を養う。						
2 学習の方法						
表現と鑑賞の2つの領域について、次の内容を学習します。						
○表現	形体、色彩……	形体の性質と空間に果たす機能等について理解を深め、分割や配置などの工夫により、変化と統一のある構成ができるようにするとともに、色彩の体系及び機能等について理解を深め、美的秩序を意図した調和のとれた配色ができるようにします。				
	材 料……	様々な材料の特性について理解を深め、表現の可能性を追求するとともに、材料と用具とのかかわりについて関心をもち、それらを活用して表現効果を高めることができるようにします。				
	平面構成、…… 立体構成	形体や色彩、材質などの効果的な使い方を考え、構造や機能を工夫してそれらを総合的に扱い、美的秩序を意図した平面や立体の表現能力を高めます。				
○鑑賞	作品の形体や色彩に見られる構成や構造の工夫、材料や技法の活用及びそれらが表現に生かされた効果について考え、作者の表現意図や構成のねらいを理解できるようにします。					
3 評価について						
①評価の観点						
知識・技能	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。					
思考・判断・表現	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。					
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。					
②評価の方法						
観点	材料	ワークシート	アイデアスケッチ	制作過程	作品	評価方法
知識・技能	○	○	○	○	○	知識や技能を学び活用できているか評価する。
思考・判断・表現	○	○	○	○	○	課題に対しての思考、アイデアを活かし作品を制作、発表ができているか評価する。
主体的に学習に取り組む態度	○	○	○	○	○	授業及び課題、ワークシート、グループワーク、発表等における主体的・協働的取り組みを評価する。
4 その他						
・ 美大のデザイン系の学科の入試は平面構成が課されます。そこでは与えられたテーマを大胆かつ繊細に色彩を構成して表現することが求められます。 ・ この授業では受験する人・しない人を問わず、デザインやアートに有用な平面構成の基礎から学びます。後半では個に応じた課題を用意し、大学受験にも対応します。						

5 単元の目標・評価						
単元名	形体と色彩					
単元の目標	○「形体」について知る ○「色彩」について知る					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	技法研究、制作、鑑賞					
活動内容	色彩研究、制作技術を学び制作する。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	色彩の三属性やトーンについて知り、様々に組み合わせて創造的で個性豊かな表現の構想を練っている。		テーマを設定し円や正方形を色面に塗り分けることを通して、創意工夫した「分割」「配置」をしている。		形体や色彩がもつ性質・空間に果たす機能について知り、造形活動に活用しようとする。	

単元名	平面構成					
単元の目標	○テーマにふさわしい形体・色彩・配置を考える。 ○モチーフの材質感を美しい陰影で表現する。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	技法研究、制作、鑑賞					
活動内容	色彩研究、制作技術を学び制作する。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	テーマから発想したイメージを明確にしなが、効果的な配置・配色の構想を練っている。		モチーフの材質感を端的な陰影に変換して効果的に表現している。		テーマを膨らませたり掘り下げたりしながら、オリジナリティーのある表現を目指そうとしている。	

単元名	表現材料					
単元の目標	○表現材料や用具についての特性を理解する。 ○表現意図に沿って表現材料や道具を工夫し、自分の表現技法を体得しようとする。					
育成を目指す力	行動・挑戦力	課題解決力	創造力	発信力	自己管理能力	継続力
活動形態	技法研究、制作、鑑賞					
活動内容	色彩研究、制作技術を学び制作する。					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
評価規準	色を塗る順番を適切に計画し、色面に対して適量となるように絵の具を混色し、均質に塗るように工夫している。		絵の具や筆などの道具の特性から発想し、個性豊かな彩色を構想している。		絵の具や筆などの道具の特性について知ろうとし、表現に生かそうとしている。	

6		年間計画					
学期	月	単元	項目		予定時数	考 査	
前期		オリエンテーション	『構成』の学習内容を知り、見通しを持つ。		2	前期 中 間 考 査	
	4	形体と色彩	○「形体」について知る	形体がもつ性質・空間に果たす機能 「分割」「配置」の練習	58		前期 期 末 考 査
			○「色彩」について知る	色彩がもつ性質・空間に果たす機能 色彩学入門 配色の練習			
	5	平面構成	○平面構成をする	テーマにふさわしい形体・色彩・配置を考える。 モチーフの材質感を美しい陰影で表現する。 表現材料について知る。			
	6	表現材料	○表現材料を知る	表現材料や用具についての特性を理解する。 表現材料や用具を様々な試行し、独特な味わいを発見しようとする。 表現意図に沿って表現材料や道具を工夫し、自分の表現技法を体得しようとする。			
	7	鑑賞	○鑑賞する	互いの作品を鑑賞し、よいところを見つけ合う。 今回の制作から課題を見つけ、次の制作への意欲を持つ。 様々な作品の主題と表現意図、形体や色彩、材質感など 描き表し方の工夫表現材料の活用、効果等について考察する。			
	8			以上を相互に関連付け、年間を通し、個に応じて扱う。			
	9		個人の進路にあわせた実技演習				
後期	10				58	後期 中 間 考 査	
	11						
	12						
	1						
	2						
	3					後期 期 末 考 査	